

クイズ 同和問題は今 解答

1 子どもの結婚の際に相手が同和地区出身かどうか気になる人はどれくらいでしょうか。

3 20%

同和地区出身かどうか気になる (21.2%)

子どもの結婚相手が同和地区出身者かどうかを気にする人は21.2% (5人に1人くらい)で、いまだに結婚における部落差別は存在しています。

2 住宅の購入や入居では、同和地区を避けるという人はどれくらいでしょうか。

3 60%

避けると思う (30.5%)

どちらかといえば避けると思う (24.5%)

住宅の購入や入居の際に、同和地区を避けるという人が半数を超えており、同和地区に対する忌避意識が根強いことがわかります。

3 同和地区出身とそうでない人との結婚で反対されることは、増えているでしょうか、減っているでしょうか。

2 増えている

反対された人 40~59歳 (19.7%)

15~39歳 (24.7%)

同和地区出身とそうでない人との結婚で、同和問題に関わって反対されることは減ってはならず、部落差別はなくなっはけません。

4 同和地区出身とそうでない人との結婚は、増えているでしょうか、減っているでしょうか。

2 増えている

夫婦一方が同和地区 50~59歳 (45.1%)

15~29歳 (69.3%)

結婚での反対は減っていませんが、若い世代になるにつれて同和地区出身とそうでない人との結婚は増えています。結婚に至った場合でもなんらかの差別があり、その差別をのりこえているのです。

解答の出典は、2012年(平成24年)3月現在の最新データです。

1・2…大阪府人権問題に関する府民意識調査/2010年(平成22年)

3・4…大阪府同和問題の解決に向けた実態等調査/2000年(平成12年)